

お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

田んぼがしたい子
集まれー！



梅津 ^{はるか}悠 さん (浅立)

輝く地域の力

白鷹の未来を彩る

ぴんくのヒヨコ

…田んぼを終わらせるのはもったいない…

大好きなピンクに身を包み、早朝から元気に稲作に励む、梅津悠さんにお話を伺いました。

就農のきっかけは

小さい頃から田んぼで遊んでいました。田植の時期、会社勤めの合間に田植え機に乗せてもらい、家族を手伝うようになりました。

ある年の田植えの前日、祖父が大ケガをしたのがきっかけで、祖父の代で田んぼを終わらせるのはもったいないと思い、後を継ぐことを決めました。

なぜピンクなの

もともとピンクが大好き。会社勤めの頃は髪を黒くしてくださいと言われていました。ピンクの髪、メイク、ピアスを自由にできるのは農業しかない！と気付いたのも、就農のきっかけです (笑)

子どもたちが いっぱい集まる

種子用のお米を三町五反、ほとんど一人で管理しています。

種まきのときは家族一同、親戚のおばちゃん、おいつ子にめいっ子、近所の子もたちまでいっぱい集まって手伝ってくれるので助かります。子どものほうが多いくらいですよ (笑)

若い人の就農につながればいいですね。

楽しく食品開発

食品の加工販売もやっています。夏場はトマトのキムチ、冬場はお菓子や漬物を自宅の加工場(ぴんくのヒヨコ)で作り、仲間と共に役場口ビーなどに出張販売もしています。

おみ漬けは、近所のおばちゃんから漬け方を聞きましました。予約でほとんど完売します。

お菓子作りはいつも思い付きで、作りたいものを作るって感じですよ。笹巻も、白じゃつまらないから、色を着けたらかわいいかなって。白は何色にでも染まりますから (軽トラも)。

仲間と

気の合った仲間5人で「ゆかいなマーケット」と名をつけて、朝市などの売り場情報を見つけては、商品の売り込みや販売を一緒にやっています。定期的な出

張販売なども企画して、販路を広げられれば良いですね。

議会へひとこと

肥料や農薬、燃料に加え育苗の土までも、全てが値上がりし、農家は大変な思いをしています。早急な対策を、切実にお願いします。



取材を終えて

田舎の農業には似合わないような柔軟なスタイルと発想。しっかりとした経営理念。

これからの若い農業を、必ずや、けん引していけることと実感しました。(佐々木)

編集後記



新型コロナウイルス感染症の法的措置が5類に引き下げられ、更に社会活動が通常化に向かう中、白鷹町議会も新たな体制となりスタートしました。

広報委員一同、議会の動きをいかにわかりやすくお伝えできるかを最優先に考え、新たな内容も検討しながら、多くの町民の皆様にお読みいただけるよう、紙面づくりに努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、日本列島は10月ごろまでが出水期。情報を常に把握し、災害への備えは常に万全としていたいです。(丸川)

広報委員

委員長	丸川 雅 春
副委員長・編集長	佐々木 誠 司
委員	金 田 悟
委員	竹 田 雅 彦
委員	衣 袋 正 人
印刷	(有)梅津印刷

